

2025. 4

SAGA e スタディ事例集

令和6年度小・中・高を通じた英語教育強化推進委員会 作成

佐賀県教育委員会

目次

	ページ数
• 小学校事例（唐津市立大志小学校、唐津市立相知小学校）…	2
• 中学校事例（鳥栖市立基里中学校）…	5
• 高等学校事例（佐賀県立神埼高等学校）…	6

英語学習デジタル教材【SAGA eスタディ】について 唐津市立大志小学校、唐津市立相知小学校

実施場面

- ・単元の終わりに
- ・パフォーマンステストの際の待機時間の課題として
- ・週末や長期休業中の課題として
- ・雨の日や暑い日など室内で過ごす際に
- ・台風などで休校になった際の課題として

使ってみた感想（教員）

☆初回は、学年に関わらず「英語チャレンジ(1)」の1回目を取り組むとスムーズに取り組めた。

2回目以降は、自分に合うレベルを選択して取り組んだ。

☆学校では、隣の人の音声が聞こえてしまうため、ヘッドセットがあるとよい。

問題に取り組む児童の様子（6年生）



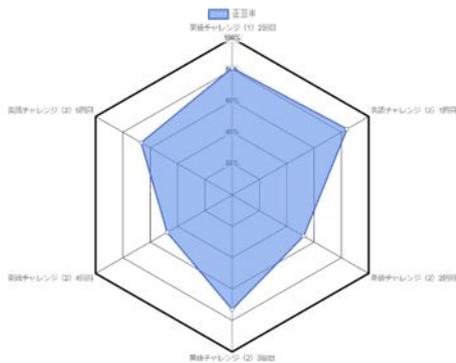
達成率が85%以上で嬉しい！



誕生日について聞かれているから・・・



教員の管理画面より（6年生結果分析/休校日における取組）



定期的に学年、クラス毎、個人の
結果を分析することができる

児童理解

6年生結果分析/授業中の取り組み

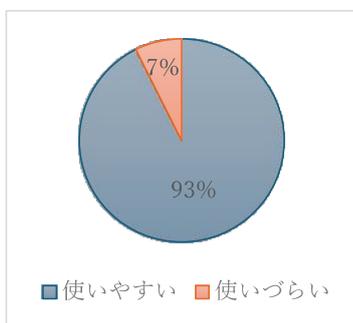
☆チャレンジ（1）1回目 学年平均 **74.6pt**

☆チャレンジ（1）2回目 学年平均 **77pt**

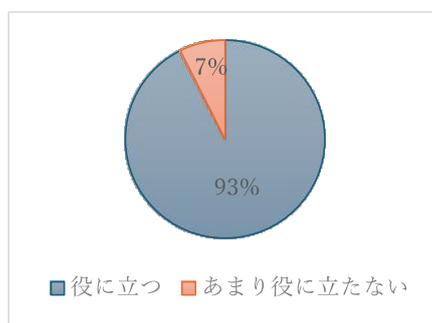
2.4pt アップ！！

同じ問題を繰り返し取り組むことができ
るため、間違えた問題を直し直す
ことができる！成長を実感できる！

アンケートより（6年生）



eスタディは使いやすいですか。



外国語を学ぶのに役に立ちますか。

児童の感想より（5,6年生）

タブレットを使って取り
組めるため、気軽に英語の
勉強ができる。（5年）

イラストや動画があって
わかりやすい。（5年）

英検の対策として（6年）

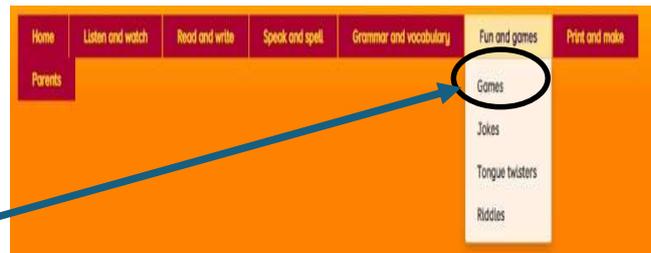
自分のレベルに合う問題を
解くことができる。（6年）

自分のレベルを知る
ことができる。（6年）

問題を解く前に復習の映像を見て、
何度も確認することができる。（5、6年）

外部リンクの活用（5,6年生向け）

- Stories for Children（短編アニメ） 
- British Council Learn English（英語学習サイト for Kids） **
- British Council Learn English（英語学習サイト for Teens） 
- BBC Learning English（英語学習サイト：初級） 
- BBC Learning English（英語学習サイト：中上級） 
- BBC Learning English（英語学習サイト：上級） 
- BBC Learning English Level Check（文法力チェック） 
- CNN 10（学生向けニュース動画） 
- Cambridge Dictionary（英英辞書） 
- Vocabulary games（単語ゲーム） **



※「Games」にはたくさんのコンテンツがあるが、「Clean and green」はゴミを分別する活動となっており、4年生くらいからでも取り組みやすい。



Sushi Spell
流れてくるアルファベットを選んで単語を綴ります。



Wordshake
16文字のアルファベットを組み合わせて単語を綴ります。

単語ゲームに取り組む児童の様子（6年生）



これまでに書いたことがある単語を打ってみよう！



単語の綴りを知ることができる！

佐賀県英語デジタル教材 SAGA e スタディの活用事例



鳥栖市立基里中学校

【 SAGA e スタディを 始めてみよう! 】

1. 英語科の教員が、実際にログインして SAGA e スタディを使用してみる。
2. 英語科の教員で、SAGA e スタディ導入のねらいや意図を確認し、導入の仕方や ID・パスワード保管の方法など、事前に計画する。
3. 英語の授業で、ログイン方法や ID・パスワードの保存、使用の仕方などを導入する。
 - ・ID・パスワードは個人で保管(高校まで使用)
 - ・自宅のPCやスマートフォンでも使用可能
 - ・ホーム画面を「ブックマーク」に登録
→スタート画面からすぐにログイン画面へ

【 SAGA e スタディを 使ってみよう! 】

- こんな場面で使用しています。
 - ・朝の活動の時間
 - ・自習の時間
 - ・授業の始めの時間(帯学習)
 - ・3年生の放課後補充学習会
 他にも、英検受験を希望している生徒は、昼休みなどの時間を使って自主的に取り組んでいます。
- こんな目的で使用しています。
 - ・英検の受験対策
 - ・前年度学年の学習内容の復習
 - ・定期テストのリスニング問題練習

【 SAGA e スタディを 続けてみよう! 】

私は英検を受験する約1ヶ月前から使用しました。朝学習の時間以外にも、すきま時間を見つけて少しずつ取り組みを進めました。参考書で学習するよりも、短い時間でいろいろな形式の問題に挑戦できたのがよかったです。英検対策として参考書と併用することがおすすめです。



私は英語の学習があまり得意ではありませんが、朝の活動の10分間で活用することは負担が少なく、気軽に問題に取り組むことができました。分からない単語や表現は先生や友達に質問して、少しずつ「分かる」が増えました。授業で同じ単語や表現に出会うこともありました。



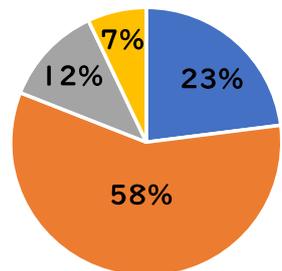
【 SAGA e スタディで 伸ばしてみよう! 】

〈ここが良かった!〉

- ・リスニング形式の問題に取り組む機会が増えて、定期テストなどに対応できる力が高まった。
- ・1、2年生で学習した内容を総合的に復習することができて、受験勉強の一つの手段として取り入れることは有効であった。
- ・間違えた問題に出会う回数が増えて、繰り返し問題にチャレンジすることで解ける問題が増えた。

Q: SAGA e スタディの取り組みで英語学習への意欲は高まりましたか?

- 23% 大変高まった
- 58% 高まった
- 12% あまり高まらなかった
- 7% 高まらなかった



家庭学習を個別最適な学びへ。英語嫌いが減りました！

佐賀県立神埼高等学校

活用結果

本校では、家庭学習になかなか効果を感じないという課題を解決するために、SAGA e スタディを家庭学習用の課題として活用しました。すると、従来よりも課題への取り組み状況が良くなり、学習の習熟度が上がっただけでなく、成果の副産物として英語への苦手意識がなくなってきています。

従来の課題（家庭学習）

- 生徒の習熟度によらず、画一的なものが多い。
- 答えを写すだけなど、取り組みの質に差があることも…。
- 課題の回収から返却まで、時間がかかる。
- 家庭学習では、リスニングへの取り組みや成果が見えにくい。

『SAGA e スタディ』で解決できたこと

- 生徒が自分に合わせてレベルを選べる。
- 一定の評価が出るまで、自力で何度でも挑戦できる。
- 提出・返却の手間がなく、評価もすぐに生徒にフィードバックされる。
- リスニングを含め、4技能の取り組み状況や成果がいつでも確認できる。

思わぬ副産物も（アンケートより）

- 英語嫌い → 11.8%減少
- 英語を話す抵抗ある → 14.5%減少
- 自分の将来に英語は必要と答えた生徒 → 88.0%（4%増加）

テスト 選択 期間 2025/02/25 期 - 2025/03/25 期

必要な検索条件を設定して、「表示」、「CSV出力」または「グラフ表示」をクリックしてください。

表示 CSV出力 グラフ表示

1~50件を表示/全622件

学校	学年	クラス	科目	テスト名	正答数	正答率	所要時間	受験日
神埼高	1			CEFR A1 (基礎3級程度) 5回分	19 / 20点	95 %	1分38秒	2025/03/23
神埼高	1			CEFR A1 (基礎3級程度) 5回分	15 / 20点	75 %	2分31秒	2025/03/23
神埼高	1			CEFR A1 (基礎3級程度) 5回分	3 / 20点	15 %	1分09秒	2025/03/23
神埼高	1			CEFR A1 (基礎3級程度) 5回分	19 / 20点	95 %	2分23秒	2025/03/23
神埼高	1			CEFR A1 (基礎3級程度) 5回分	5 / 20点	25 %	2分18秒	2025/03/23
神埼高	1			CEFR A2 (基礎準2級程度) 1回分	25 / 27点	92 %	7分24秒	2025/03/22
神埼高	1			CEFR A2 (基礎準2級程度) 1回分	22 / 27点	81 %	7分57秒	2025/03/22
神埼高	1			CEFR A2 (基礎準2級程度) 1回分	19 / 27点	70 %	15分35秒	2025/03/22
神埼高	1			CEFR A2 (基礎準2級程度) 1回分	17 / 27点	62 %	10分17秒	2025/03/22
神埼高	1			CEFR A2 (基礎準2級程度) 1回分	17 / 27点	62 %	10分17秒	2025/03/22

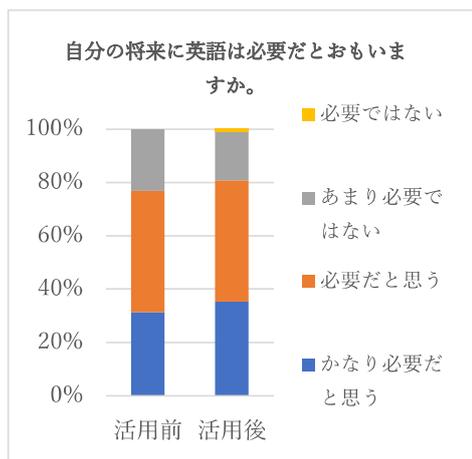
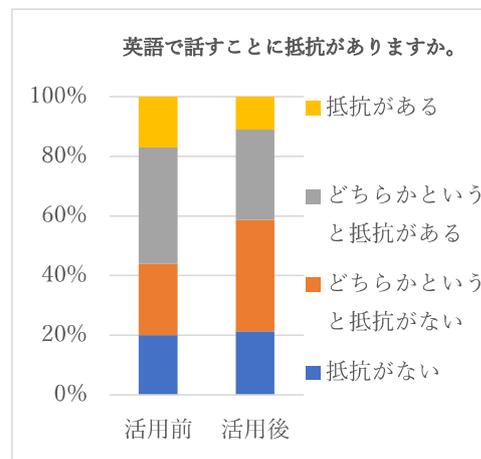
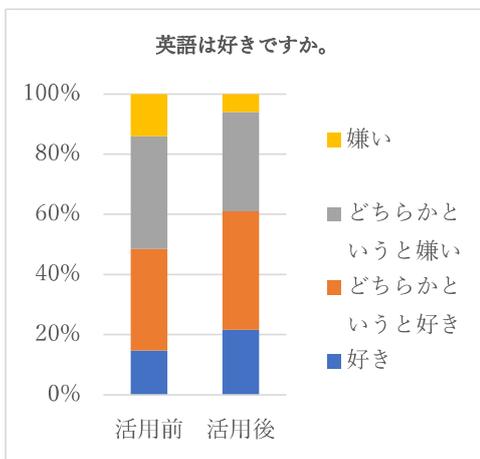
生徒が自身で取り組めるまでは、授業の始めに帯活動として使用する時間を設けました。慣れてからは、課題に設定していなくても自主的に取り組む生徒が増えました。やはり、やってすぐに評価が得られ、主体性を持って取り組める活動に、生徒はやりがいを感じているようです。

生徒の主な声 ※アンケートの回答内容が多い順

- 英検の問題の練習ができる。
- 自分のレベルに合ったものを学べる。
- すぐに評価が出るので、良い評価が出た時の達成感がある。
- AI 英作文添削や単語ゲームなどの役立つリンクがついている。

など

SAGAE スタディ活用前後の変化（独自アンケートより）※主な活用期間は2学期から3学期



アンケートからは、SAGAE スタディを活用後、英語に対して前向きになった生徒が増えていることがわかります。これには、様々な要因が考えられますが、指導者としての実感では、学習の理解度が低い層が、端末を使って学習すること自体が取り組みやすいこと、そして成果がすぐに「見える化」されることで、モチベーションが向上しているように感じます。